

1. はじめに

私は英語力向上と異文化理解を目標に、マレーシア春季英語研修に参加しました。今後こちらの研修への参加を検討している皆様の参考になるように、1ヶ月の研修を振り返りたいと思います。

2. 授業

授業は、マラヤ大学の附属機関である”University of Malaya Centre for Continuing Education”(UMCCed)で行われました。寮からバスの送迎がありましたが、途中から時間に遅れるようになり、スタッフを呼んで車で迎えに来てもらいました。歩いても行ける距離ですが、かなり暑いのであまりお勧めしません。初日のクラス分けテストの結果、首都大生は Advanced と Intermediate クラスに分けられました。クラスメイトは中国出身の学生が多く、Advanced クラスは首都大生 7 人に中国人が 5 人、Intermediate クラスも中国人が多数を占めていました。授業は 8:30 から 15:30 まで(午前 2 コマ・午後 1 コマ)でした。内容は IELTS 対策がメインで週 12 コマ。残りは首都大生のためのクラスで、会話の授業が週 2 コマ、マレー語の授業が週 1 コマでした。エッセイライティングや教科書の問題が時々課題として出されましたが、遊びに行けないほど多くはなかったです。ただ、授業最終日に約 10 分のプレゼン発表があり、こちらの準備には苦戦しました。



3. 生活環境・寮設備

現地の気温は日本の夏と同じくらいなので、服装も同じでよいと思います。ただし、教室はかなり冷房が効いていることと、授業や宗教施設を訪れる際には半ズボンがあまり好ましくないことに注意が必要です。夕方はスコールが多いです。ほとんどの場合すぐに止みますが、夜遅くまで降り続くこともあり予想できないので、傘は常に持ち歩くことをお勧めします。寮には食堂と売店があり、1食 6~7 リンギット (RM) あれば満足する量を食べられます。UMCCed の食堂は閉まっていたので、昼食は近くのレストランや屋台を利用しましたが、値段は変わらず安いです。寮の設備に期待しすぎるとショックを受けるでしょう。トイレには紙がなく、使い方がよくわからないホースがあります。キッチンは一応存在しますが、道具はほとんどないです。洗濯機・乾燥機もありますが、逆に服が汚れたことやなかなか乾かないこともあったので、手洗いの準備やハンガーを持参することをお勧めします。寮には猫が



非常に多く住んでいます。よく人に懐いていてとてもかわいいですが、触った後はよく手を洗いましょう。寮のすぐ前にバスケットボールやフットサルのコートがあり、様々な国からの留学生と交流することができます。寮の設備には初めは驚くことも多かったですが、慣れてしまえば何とも思わなくなりました。

#### 4. 買い物・観光

寮の最寄り駅にはスーパーやダイソーが入るショッピングモールが、UMCCedの最寄り駅の一つ隣の駅には東南アジア最大級のミッドバレー・メガモールがあり、イオンなど日系の店舗も多数入っています。必要なものはこのあたりを探せばほとんど見つかるでしょう。これらのモールには多くのレストランもありますが、寮の食堂などと比べるとやはり値段は高めです(それでも日本よりは安い)。生活必需品の物価は日本の3分の1くらいですが、エリアや買うものによりかなり差があります。最初の数日で800RMも使った首都大生もいましたが、私はトータルで約1,500RM使いました。無駄遣いしなければ現地で使う分は4万円ほど両替すれば足りると思います。授業は15:30に終わるので、平日でも観光する時間は十分あります。移動はGrabタクシーが便利ですが、車社会のマレーシアでは仕事が終わる17時頃から道路はかなり混雑します。この時間帯は料金も上がるので、Grabでの移動はできれば避けたいところです。



#### 5. AAJの学生との活動

週末には日本語を学んでいる現地学生(AAJ)との交流アクティビティーがありました。1週目はキャンパス内の施設でマレーシアの言葉や民族衣装、伝統的な遊びを教えてもらいました。2週目は田舎に1泊ホームステイ、3週目はマラッカへ一緒に行きました。彼らは2年ほどしか勉強していない日本語をととても流暢に話します。日本人だけではなかなか行かないようなところにも連れて行ってくれたので、とても貴重な経験をすることができました。



#### 6. おわりに

授業の質は素晴らしかったと思いますが、マレーシアの街中ではどこでも英語を使えるわけではありません。英語力向上を重視する学生には、英語圏での研修の方が良いと思います。しかし、多民族国家であるマレーシアでは、日々の生活の中で様々な文化の違いに触れることができます。異文化理解を重視するならば、マレーシアは最適な場所だと言えるでしょう。私は今回の研修に参加して、非常に貴重な、充実した時間を過ごすことができました。このような機会を設けてくださったすべての方々にこの場をお借りして感謝申し上げます。この報告書が皆様のお役に立てば幸いです。最後までお読みいただきありがとうございます。